

早いもので、今年もあと2週間ほどを残すのみ。

どのご家庭も、年末年始の準備に

大忙しではないでしょうか。

神棚の掃除や正月飾りも、

忘れてはいけないもののひとつですね。

最近は神棚のないお宅も増えていますが、

もうすぐ新年を迎えるこの機会に、

ちょっと考えてみませんか？



あなたの家に、神棚がありますか？

神棚や仏壇を置くのにふさわしい部屋といえば、まず和室が思い浮かびます。ところが、洋風なライフスタイルが定着し、和室のない住まいが珍しくなくなってきたことで、神棚や仏壇をどうするかで頭を悩ませる方々も増えてきているようです。

ある方にお聞きすると、「仏壇はひとまず実家に。でも、神棚はそうはいかないし、どうしようかな…」と、考えあぐねている様子。あなたのお宅では、どうしていますか？

神棚は、神様に居ていただく場所

神棚をお祀りする意味は、家庭に神様をお招きして、ふだんの感謝の気持ちを報告したり、つがない暮らしを見守っていただいたりすることにあります。初詣や七五三、合格祈願、安産祈願、厄払いなどで、神社に少なからず親しみを感ずるなら、家のどこかに「神様に居ていただく場所」をつくりたいものです。

もちろん、必ず神棚をお祀りしなければならぬというわけではありません。日頃とくに神様を意識したことがないという方は、そうしなくてもよいのです。

洋室にもマッチする神棚があります

たとえ和室でなくても、神棚をお祀りすることはできます。最近では、洋風の部屋やインテリアにマッチするさまざまなデザイン的神棚が商品化されています。また、お祀りの仕方にもルールはありませんが、それもあまり難しく考える必要はありません。まずは気軽に、お気に入りのデザインの神棚をお祀りしてみたいかがでしょうか。

基本的なルールは、次のとおりです。

- 神棚は、南向きか東向きに。
 - できるだけ明るく、きれいな場所に。
 - トイレと背中合わせになる場所や、人の出入りの激しい扉の上は避ける。
 - 1階に神棚をお祀りする場合、神棚の上にあたる部分には家具を置くなどして人が通れないようにする。
- すべてのルールを守れないこともあるでしょう。でも、それでも構いません。大切なのは、神様への敬意と感謝の気持ちです。さて、あなたは来たる新年に、どんな願い事をしますか？

いまだから 考えませんか？ 神棚のこと

